

早島駅周辺拠点整備に関する町民説明会で頂戴した主な意見・質疑と
それに対する町の考え方等

(同じような趣旨のご発言については、整理して掲載しています。)

【地域の活性化について】

- 1 駅周辺整備をすることで町が活性化すると思うがその見込みは。コンサルティング事業者による数値化を提案するがいかがか。

(回答)

- 駅周辺を拠点として整備することで町外からの来町はもとより、町内の方の交流拠点としてにぎわいを生むものと期待している。

その効果について、コンサルティング事業者を活用した数値化までは考えていないが、既存の数値を活用しながらより活性化に寄与するよう事業を進めてまいりたい。

- 2 南口改札を開設したとしても、南側は農振農用地であり早島町の活性化には寄与しない。南側を開発発展させる、若しくは農地のまま維持発展を目指すなど、駅周辺事業だけではなく、長期を見据えた諸々の施策の実施を求める。

(回答)

- 今回の南口改札の開設は、JRとしては非常に大きな決断であったと聞いている。このこと自体が町にとってメリットと捉え、今後どのような形で南側を活性化させるかについて、中長期的な視点からもしっかり検討してまいりたい。

【事業費について】

- 1 もっと事業費を落とすべきと考えているがいかがか。

(回答)

- 駅周辺をまちづくり拠点として整備することで、国の財政支援を得ながらバリアフリーを進めることができることになったものであり、まちづくり拠点整備は必須の条件である。その中で交流スペースはまちづくり拠点と言える必要最小限の程度のものであり、情報発信スペースやトイレは階段下のスペースを活用して設置する等、できるだけ延床面積を広げることのないよう意識して設計している。また、外壁や膜屋根は劣化によるメンテナンス費用をできるだけ要さないよう質を落とさないで設計しており、長年に渡って使用することを意識した設計としている。

2 施設のバリアフリー化は賛成だが、既存の跨線橋にエレベーターと屋根を設置すれば問題解決するのではないか。ここまでお金をかけて整備をすることは反対であり、子や孫の代まで負担を強いることについてどのように考えているか。

(回答)

○ 既存の駅施設にエレベーターを設置することは、乗降客数の少ない早島駅では国の補助が得られず、これまで JR も認めてこなかった。バリアフリー化にとどまらず、まちづくり拠点として整備することで、国からの財政支援の可能性が得られ、駅舎外に自由通路を含むエレベーターの設置及び南口改札の開設について JR の合意がとれたものである。また、駅などの大規模整備については、その施設は長期にわたって使用されるものであり、一定の期間(今回の計画では起債の償還期間 20 年)の負担を平準化することは、受益者負担の観点から見ても有効な方法であると考え。さらに、交付金以外にも起債に伴う交付税措置といった国の支援や基金の充当など、町にとってできるだけ負担がかからないように計画を進めることとしている。

3 毎年の維持費についてはどのように考えているか。

(回答)

○ 最近駅を整備した他市町村の例(エレベーター 3 基)では、光熱水費・修繕費等を含めて年間 450 万円ほどである。規模の違いはあるが、早島駅も年間 500 万円程度のランニングコストを見込んでいる。なお、貸スペース、増設する駐車場の貸料や自動販売機の売上収入などにより、維持費の半額程度の収入を得たいと考えている。

4 駅事業のほかに都市計画道路駅前バイパス線建設、保育所・児童館整備等の事業も含めると事業費は非常に大きなものとなる。しかもそのほとんどが町負担だと理解しているので、単体の事業だけでなく町全体の事業費で実施の検討をすべきだと考えるがいかがか。

(回答)

○ 本計画の国からの交付金以外の費用について、一部起債を検討しており、起債額の 3 割は交付税措置として国の負担となる見込みである。

さらに、本計画の町負担の一部には基金を充当する予定であり、できるだけ後年度に負担がかからないよう検討している。

また、保育所・児童館整備については、こちらも国からの補助を受け、町負担は 12 分の 1 である。

5 維持費の主なものは電力使用料だと思うが、電力使用料の削減についてどのように考えているか。

(回答)

- 採光や省エネ器具を積極的に活用して省電力化に努めるとともに、太陽光発電設備を考えており、すべてを賄うことは難しいが、低減化に努めて参りたい。

6 まちづくり拠点としての整備が条件ということは理解したが、津山駅は5億円弱でバリアフリー化を行ったとニュースで知り規模感の違いに驚いている。限られた財源であるので、他の必要な事業に回すことを意識し、事業費やランニングコストの低減に努めていただきたいがどのように考えているか。

(回答)

- 津山駅のケースは、既存の自由通路にエレベーターを設置するものであるが、早島駅ではそれを行うことはできない。他市町村の最近の事例では、駅舎、自由通路及びエレベーターの設置だけでも10億円を越しており、こうした整備には一定程度の金額がかかることはご理解いただきたい。そのような中、決して華美なものとはせず、スペースを有効活用し利用目的を集約させた必要最小限のものとなるよう配慮して設計している。また、壁や膜屋根などは劣化によるメンテナンス費用をできるだけ要さないよう質を落とさないで設計しており、長年に渡って使用することを意識した設計としている。

7 人口減少が予測される中で、今後の町民の負担をできるだけ減らすべきであり、こんな立派なものはいらないと思うがいかがか。

(回答)

- バリアフリー化の実現をできるだけ町の負担を軽く行うために、地方創生に係る交付金を活用できるように計画している。仮に、単独町費で駅舎、自由通路及びエレベーターを設置する場合、他市町村の事例からも10億円程度はかかる見込みである。限られた条件の中で町にとって一番よいものは何かを考えながら計画を進めているところである。

8 バリアフリー化は要望したが、最低限の設備でよい。エレベーターだけ設置すれば2～3億円で済むのではないか。

(回答)

- これまでのJRとの協議を通じて、駅構内の既存の跨線橋を活用してエレベーターを設置することはできないため、2～3億円で実施することは不可能である。国の支援を得ての駅整備の承認の条件であるまちづくり拠点としての整備、駅構外にエレベーター、自由通路及び南口改札を設ける場合にこの程度費用がかかることはご理解いただきたい。

【交付金について】

- 1 国への交付金の申請時期と交付決定時期はいつか、採択率ほどの程度を見込んで
いるか。また、計画が認められなかった場合どうするのか。

(回答)

- 令和6年1月申請であり、同年3月に交付が決定する。採択されるかどうかは申請を
してみないと分からないが、事前に国の担当者と協議を重ねてきており、計画について
は一定の理解を頂いていると考えている。今後も町の実情や町民の皆様の期待も含めて
国に訴えるとともに協議を重ねて精度の高い計画となるよう努めてまいりたい。

【説明会・周知について】

- 1 説明会以前は広報誌による周知・説明を行っているということだったが、これで
町民の意見が吸い上げられているとは考えられない。この事業を進めるにあたって
住民の総意はどうやって決めたのか。自治会単位での説明会を要望するがいかが
か。

(回答)

- 意見の集約という目的で広報誌がなかなか機能しづらいということは申し訳ないが、
バリアフリー化については、議員の方による署名活動や町民アンケートからもニーズが
高い事業であると考えて進めてきた。今回の計画を進める中で、JRとの協議や都市計画
法上の制限等で実施できる内容が日々変わってきたこともあり、ある程度お示しができ
る段階まで時間がかかった。また、町民の皆様から広く意見を聴き、一緒に駅前周辺を
どのように整備していくか検討できればよかったが、先ほどの制約や国からの交付金採
択条件もあり、用途がほぼ限定される状況で、なかなかご意見を頂戴する機会を設ける
ことができなかった。

今後も機会を捉えて広報誌やHP等で説明を行い、問い合わせについても丁寧に対応
したいと考えている。

- 2 このような大規模な事業を今回の説明会だけで進めるのは乱暴であり、自治会単
位で説明会を行うべきでありアンケートも必要だと考えるがいかがか。

(回答)

- 条件整理の中で意見を頂戴しながら用途を検討する余地がなかったということは広
報誌でもお伝えしてきたつもりだったが、早い段階で直接説明する機会を持てなかつた
ことは反省しているところである。JRとの協議や国からの交付金採択条件を満たすこと
を考えると用途の選択肢がなく、アンケートを徴してもその意見を反映することは難し
いものとする。個別のお問い合わせ等には、丁寧に対応してまいりたい。

【その他について】

1 現状市街化町営区域であるためにコンビニを導入することが難しいことは理解したが、今後駅舎にコンビニを入れる意向はあるか。

(回答)

- 町としてもコンビニ等の生活利便施設を導入できればよいと考えているが、これまでに事業者に打診したところによると、市街化調整区域という理由だけではなく、現在の駅周辺の利用状況では企業側としても立地が難しいのが現状である。駅一帯の市街化編入を県に要望しているところであり、駅前ににぎわいが創出されれば、立地をしたいと考える店舗も増えてくると思われるので、利用ニーズを把握しながら今後も条件整理に努めてまいりたい。

2 令和何年度完成か。

(回答)

- 令和7年度完成を予定している。

3 早島駅周辺整備は議会の承認を得ているか。

(回答)

- 整備方針や財源について機会を捉えて説明してきており、これまで実施した測量、基本計画、基本設計等については、予算審議を通じて議会の承認を得て実施している。

4 バリアフリー化を行う前に駅員を配置することが先ではないのか。

(回答)

- 町としては、JR側に無人駅化やダイヤの減便を行わないよう申し入れ、陳情することしかできないことをご理解いただきたい。

5 駅構内に自由通路とエレベーターを設置することは原則できないという説明だったが、日本全国の事例で例外はないのか。

(回答)

- 例外についてすべてを調べているわけではないが、JRとの協議の中では早島駅はそのような例外にあたることはないという回答を得ている。

6 現状、北側駅前交差点が非常に使いづらく危険な変形交差点になっているので、今回の整備に併せて東西スムーズに安心して通行できるような交差点にしてほしい。

(回答)

- 交差点の形状について課題があることは認識しているが、この課題を解決するためには道路形状から変更しないといけない。解消するタイミングがあるとすれば北側の都市計画道路が西へ延伸されれば、交通量が現在よりも減ることが想定されるので、その時に道路形状の変更も含めた解決に向けた検討になっていくものと思われる。

【その他頂戴したご意見】

- 早島の今後の活性化を考えるためには必要な事業だと思う。
- 早島幼稚園設置の際も、当時豪華すぎると反対意見が多く出たが、早島の将来のために必要だということで作った経緯がある。今そのことについて非難する人はいない。駅についても同様であり、しっかりとした自慢できるものを作ってほしい。
- 早島駅の利用者を増やすためには、南岡山医療センターや川崎医科大学附属病院、中庄駅を結ぶバス路線を設けてほしい。
- 駅は早島町の顔になるので町の発展のことを考えれば素晴らしいものにしてほしい。
- 自分は障がいがあるが、跨線橋を昇り降りすることは非常に大変であり、雨の日はことさら苦勞するため、時間がかかっても車で移動している現状である。障がいのある人にも使いやすい駅整備を希望するとともに、そういった駅であれば利用者も増えると考えている。
- 観光センターに一時ほど人が集まってこないのが、今回の整備と一緒に盛り上げるような施策をしてほしい。
- 必要な事業というのはできる時にやっておかなければならない。事業費を気にして縮小ばかり考えていけば、あとになって「どうしてあの時行わなかったんだ。」と後悔することとなる。
- 今回の説明会で整備の内容が非常によく分かった。早く実現することを期待している。
- 早島駅のイメージは「暗い・寒い・怖い」。早島駅は早島町の顔であるので、訪れる人にそんなイメージを抱かせることはいけない。
- バリアフリー化は歴代の町長達が長きに渡って尽力してきたことであり、ようやくここまで形になってきているので実現を期待したい。